

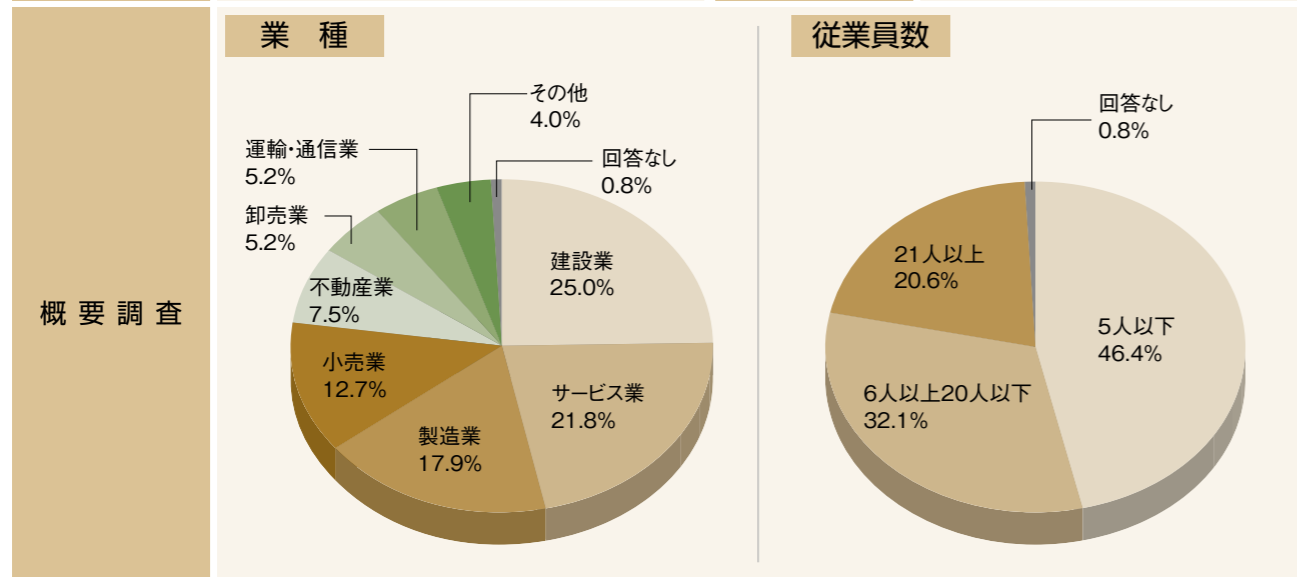
中小企業アンケート結果 令和3年2月実施

県内中小企業の景況と実態を調査するため、前回(R2.8)に引き続き、当協会の保証利用企業(500先)に対して①景況感について、また現在の状況を踏まえ②新型コロナウイルス感染症についてのアンケート調査を実施いたしました。回答の内容は以下のとおりです。

本調査は今後も継続し、県内中小企業の景況と実態を把握してまいります。

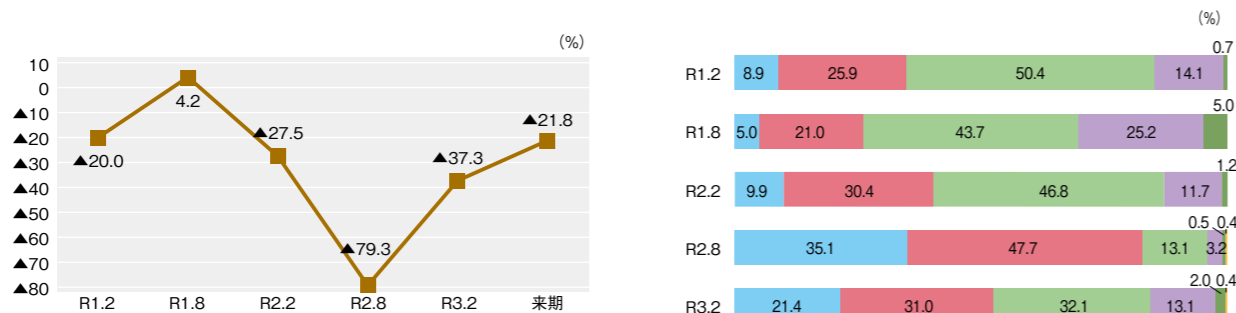
本調査にご協力いただきました方々に対し、厚く御礼申し上げます。

調査対象	当協会の保証利用企業(500先)		
実施時期	令和3年2月		
配布数	500通	回答	252通
調査方法	無記名アンケート方式	回答率	50.4%



1. 景況感について

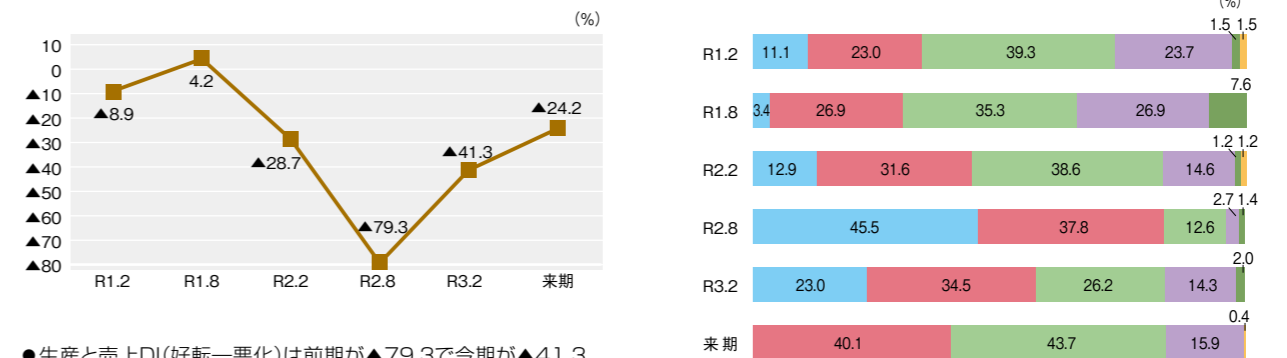
業況 前回調査と比べ改善している。来期も改善の見通し。



- 業況DI(好転-悪化)は前期が▲79.3で今期が▲37.3となり、42.0ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は▲21.8で、今期より15.5ポイント改善の見込みとなっている。

■ 大変悪くなった ■ やや悪くなった ■ 変わらない ■ やや良くなった ■ 大変良くなった ■ 回答なし

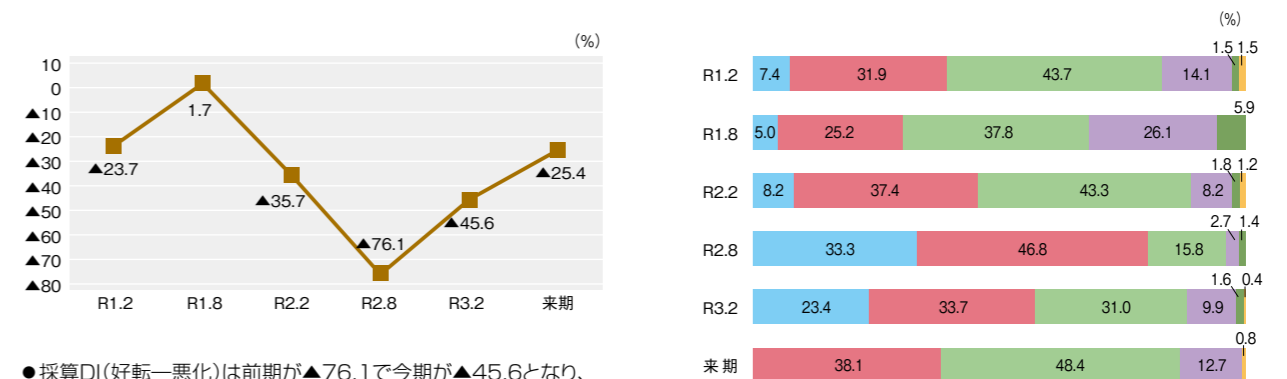
生産と売上 前回調査と比べ改善している。来期は改善の見通し。



- 生産と売上DI(好転-悪化)は前期が▲79.3で今期が▲41.3となり、38.0ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は▲24.2で、今期より17.1ポイント改善の見込みとなっている。

■ 減少した ■ 減少傾向にある ■ 変わらない ■ 増加傾向にある ■ 増加した ■ 回答なし

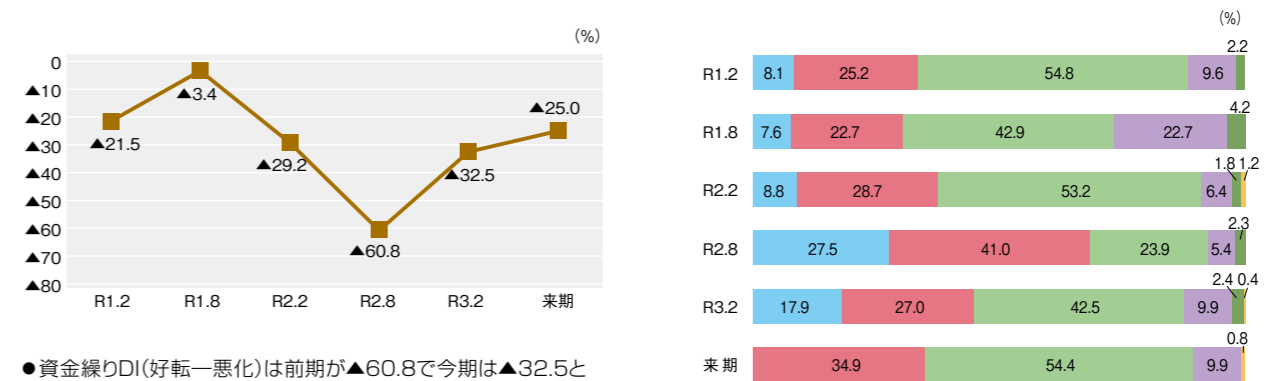
採算 前回調査と比べ改善している。来期は改善の見通し。



- 採算DI(好転-悪化)は前期が▲76.1で今期が▲45.6となり、30.5ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は▲25.4で、今期より20.2ポイント改善の見込みとなっている。

■ 悪化した ■ 悪化傾向にある ■ 変わらない ■ 好転傾向にある ■ 好転した ■ 回答なし

資金繰り 前回調査と比べ改善している。来期は改善の見通し。



- 資金繰りDI(好転-悪化)は前期が▲60.8で今期が▲32.5となり、28.3ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は▲25.0で、今期より7.5ポイント改善の見込みとなっている。

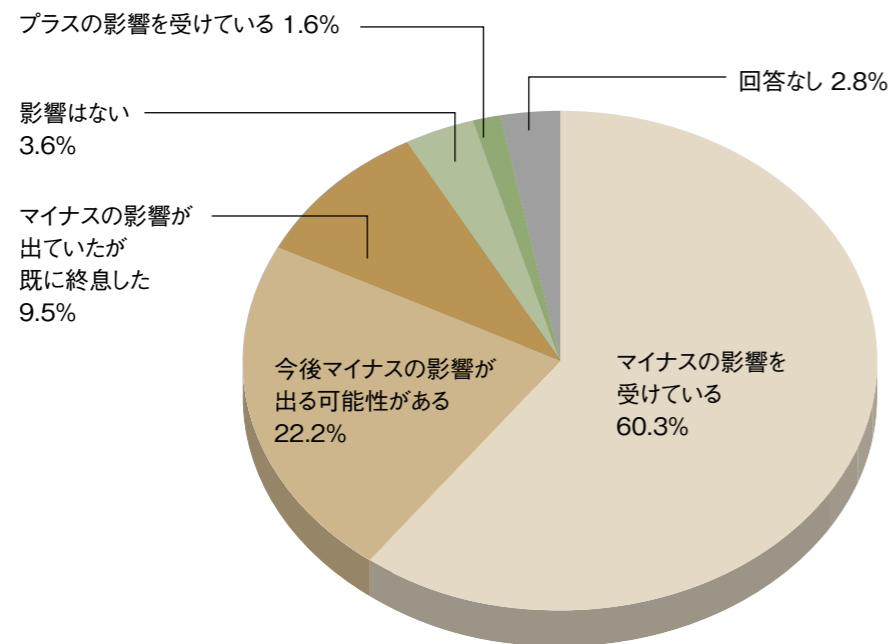
■ 悪化した ■ 悪化傾向にある ■ 変わらない ■ 好転傾向にある ■ 好転した ■ 回答なし

※各表の割合は小数点第2位を四捨五入しているため、表中の合計と一致しないことがあります。

2. 新型コロナウイルス感染症の事業活動への影響

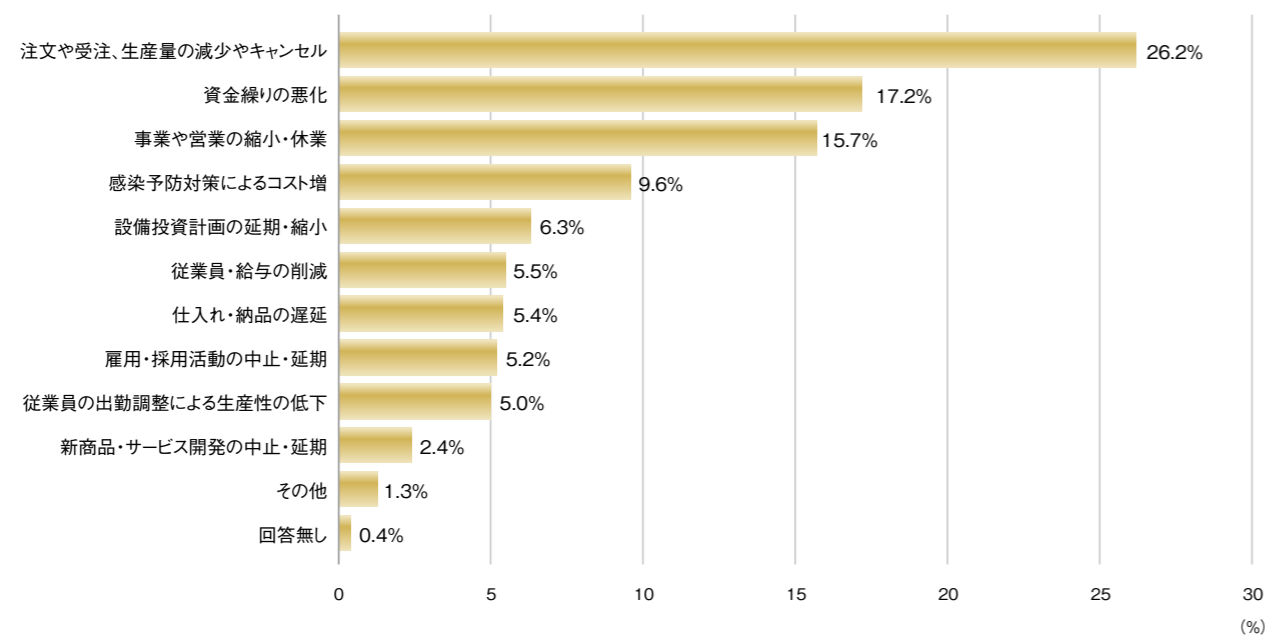
① 新型コロナウイルス感染症の事業活動への影響について

「現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていますか」という質問に対し、「マイナスの影響を受けている」と回答された企業が60.3%となりました。



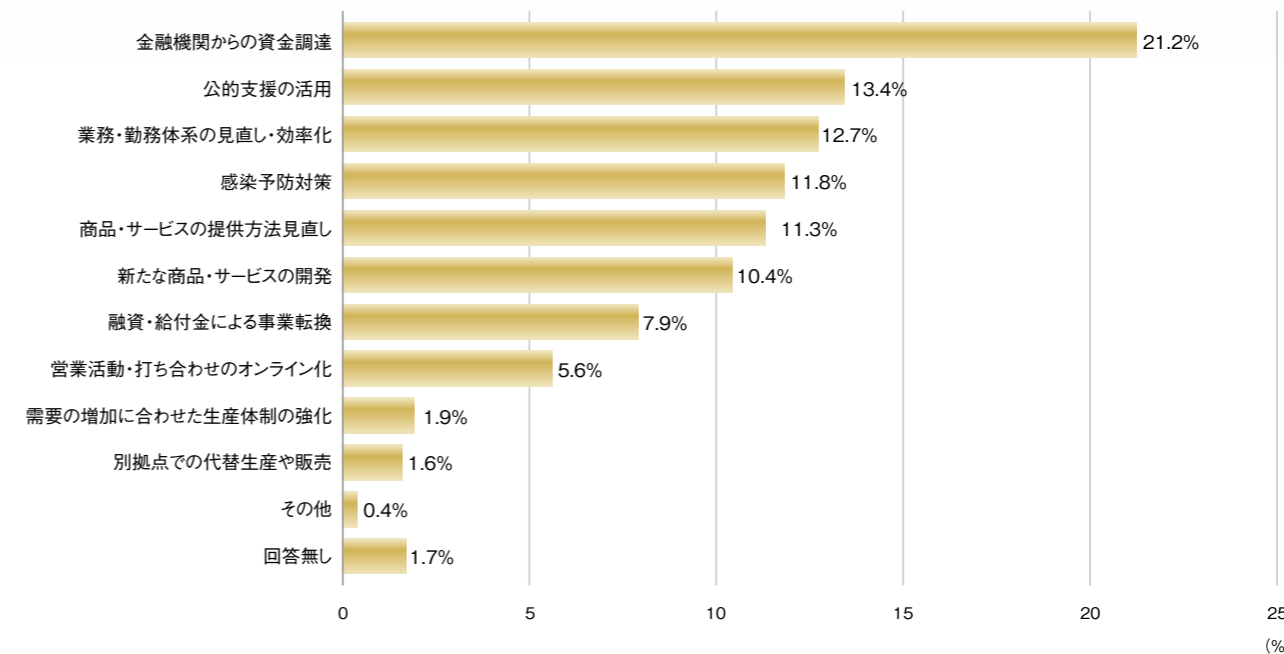
② 具体的な影響について

2の①で「マイナスの影響を受けている」「今後マイナスの影響が出る可能性がある」と回答された企業に対し、具体的な影響を聞いたところ、「注文や受注・生産量の減少やキャンセル」と回答された企業が26.2%と最も多く、次に「資金繰りの悪化」と回答された企業が17.2%となりました。



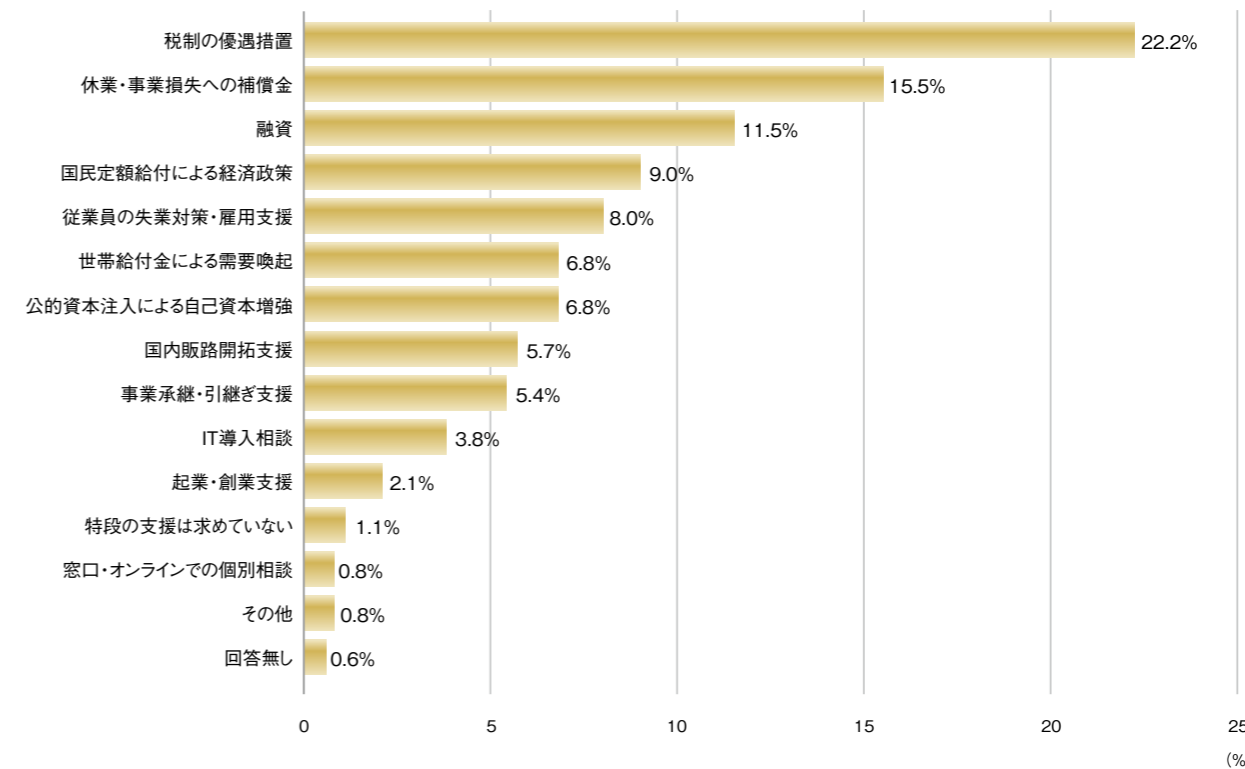
③ 事業活動における対策状況について

事業活動における対策状況について聞いたところ、「金融機関からの資金調達」が21.2%と最も多く、次に「公的支援の活用」が13.4%となりました。



3. 期待している支援について

今後期待する支援についてお聞きしたところ、「税制の優遇措置」が22.2%と最も多く、次に「休業・事業損失への補償金」が15.5%となりました。



※各表の割合は小数点第2位を四捨五入しているため、表中の合計と一致しないことがあります。